



小さな巨人ソーカツほんこ王！

ソーカツがでかいことをやってくれた。残暑きびしい 8 月 12 日(日)板橋平和公園でほんこ王戦が行われ、決勝 3 本勝負でソーカツがダーリン立川を下し、第九期チャンピオンに輝いた。幼稚園のころから遊びに来ていたが、ソーカツはまだ小学 3 年生、小さな体で大きなダーリンをすっ飛ばす大金星だ。

予選トップ通過、アンナちゃんは夏娘

予選ではアンナちゃんが並み居る強豪をなぎ倒しトップ通過だ。14 人中 8 人をなで斬り状態、去年の 8 月にもガチホンコで優勝したことを思うと、まさに夏娘。牝馬も夏に強いらしいので“女流の夏”つうことかな。2 位以下は、中 G、マサヤ、とーさん成田、アキヒロ、つぐみ、ルパン師岡、ゲンタ、平井おやぢ、ほん魂六角、ゆうた、ソーカツ、タイキロー、ダーリン立川、カツヤ愛川と続き、ワイルドカードで野村パパを破った松ちゃんまでの 16 名が決勝トーナメントへ進んだ。

ダーリン立川、ビッグチャンス进行

決勝 3 本勝負にはアキヒロ、タイキロー、ゲンタに勝ったソーカツと、マサヤ、つぐみ、中 G を破ったダーリンのふたりが残った。決勝戦までは来るが、頂上を極められないダーリンだが、トーナメントの勢いのまま、幸先よく一勝をあげる。立川家でただ一人、ノンタイトルの汚名を返上するビッグチャンスだ。しかし、この日のソーカツには訳のわからない自信があり、すかざす 1 勝を返す。というも、以前大森でダーリンと決勝で当たった時、ソーカツはダーリンの佐野ベーに苦杯を喫したが、今日は 35

グラム制限だから大丈夫との変な自信があったのだ。逆に、ダーリンにはソーカツに勝

ったという慢心があり、これが心の隙間となっていなかっただろうか。動揺を隠せないまま 3 本目もソーカツに取られると、ダーリンの額に焦りの汗がにじみ出す。すると『リビング王だからカーペットを敷いた方がいい』だの、『スリッパも履いた方がいい』だのと、外野の声がうるさい。苦笑いのまま 4 本目を投げ入れると、これも手許が狂ったか、ソーカツに一蹴され万事休す。念願のタイトル獲得はならなかった。子どもの成長は日進月歩だ。昨日のソーカツは今日のソーカツに非ず、子どもとの対戦にはよくよく用心しましょう。



つぐみちゃん、ソーカツ おめでとう！



子ども王もソーカツ、女流はつぐみちゃん

子どもで決勝トーナメントに残ったのは、ソーカツとゲンタ、ゆうたの3人だ。ゆうたはつぐみちゃんに惜しくも敗れたが、ソーカツとゲンタが準決勝で顔を合わせた。並み居る大人を蹴散らして、子ども二人がほんこ王戦の準決勝で対戦するっていうんだから、すごいことだよ。勝負はソーカツに軍配が上がり子ども王を獲得した。女流はアンナちゃんをつぐみちゃんのふたり。アンナちゃんは“予選トップは勝てない”のジンクスにはまっちゃったかな。つぐみちゃんはゆうたを破りみごと女

流王。もう、いくつ獲ったのか数え切れない。

名人戦8月場所はハルクが一躍トップに

先月トトロに改名したハルクが『トトロはいやだ。それなら来月来ない』というので、ハルクに逆戻りした。そのハルクが先場所の9位から一気にトップに躍り出た。約半分対戦して56ポイント、アベレージも3.11と好調だ。2位はほん魂六角と紅の岩坊、ハルクを3点差で追っている。この二人も先月の改名組だ。やっぱり改名が良かったからだと思うよう。名人戦も残すところ9月と10月場所のみ。対戦数で7割に満たないと予選落ちになりますので、対戦を多く残している人は時間切れに気をつけてくださ〜い。

ガチホンコは紅の岩坊が全部取り

紅の岩坊がカツヤ、シンイチ、とーさん、平井おやぢ、はるみちゃんを下し、初の全部取りに成功した。息子のタイキローが長時間に渡り難敵とーさんを苦しめてくれたお陰だ。改名もよかったね。はるみちゃんは惜しかったなあ。トーナメントで大工アベ、アンナちゃん、野村パパ、アキヒロを破って決勝までいったのに。あと少しだ、腐らずにがんばろう。



NIB 祝10周年！みなさまのおかげです その4

今回は女流王にスポットを当ててみよう。初代女流王は第一期 NIB 王戦のまみいだ。光が丘公園で初めて餅つきをしたのもこの時だ。女流が4人以上参加した場合に成立というルールなので、該当者なしの場合もよくあった。北町小時代には怪物池ママ、ミセス高橋、シャチ、チホコちゃん、チユリちゃん、あかねちゃんなどの懐かしい顔が見える。その後、板橋平和公園に移り、女流の一時代を築いたのは伊佐三姉妹だろう。初登場の2005年4月からまいちゃんが小学校を卒業する2008年3月まで、ユコリン、ユリー、まいちゃんの三人が毎回のように女流王を獲った。それでも、女流による総合優勝はなかったが、2009年7月衝撃のデビューを飾ったのがマダム立川だ。立川三姉妹が初参加したと思ったら、マダム立川が初登場で女流第1号の総合優勝を果たしたのだ。これにはシビレタ。「私もやってみようかしら」で優勝だもんね。やっぱり欲がないのがいいのかな。その後、2010年1月につぐみちゃんがグラチャンを獲り、2011年5月にははるみちゃんがオープンで初V、翌月つぐみちゃんがマスターズを制覇すると、さらにその翌月にはミセス高橋が角六王戦で初勝利すると、もう女流が優勝しても何の不思議でもないことになってしまったのだ。戦後強くなったのはオンナと靴下といわれたが、平成のオンナはもっと強いよ。でも、これはある意味 NIB の勝利でもあるのだ。ベーゴマの普及を目的として立ち上げたこの会は、ついにベーゴマを男の子だけの遊びから、女の子も一緒に遊べる遊びに変えたのだから。そうは思いませんか、みなさん。(つづく)

